

海外婦人労働資料第一號

(代 謄 寫)

婦人少年局實驗室

婦人の重量物取扱い作業

労働省婦人少年局

婦人の重量物取扱い作業

— 婦人労働者の健康保持法 —

要項

一、重量物もちあげのとき、體への危害をさせぐこと。
二、エネルギー節約法を工夫するため、重量物もちあげの要素を分析すること。

三、特殊の方法でもちあげの折の危険を克服すること。

1. 持ちあげや運搬の工夫を紹介すること。

2. 仕事の能率をあげる條件ととのえること。

3. 労働者に持ちあげの適當な方法をしらせること。

四、一番經濟的な方法を用いる訓練をすること。

五、身體検査により重工業労働者の健康をまもること。

六、重量物もちあげを州で取り締るには、最大限重量をきめ

を特別法律だけでは効果的でない。公認の取締機關による
方が効果的である。

(労働省婦人少年局)

本篇は一九四一年度米國労働省婦人局特報第二號「國防產業に於ける重量物持ちあげ作業——婦人労働者の健康保持法」の中から最初の部分をほびて譲出したものである。省いに部分には第二次大戰中に婦人が從事すると豫想された米國國防產業における重量物作業の種類に關して述べられている。

労働基準法の中には女子の重量物取扱いに就いて、保護の規定が設けられてあるが、この法律を貫く精神を生かすために、重量物作業に從事する婦人のために合理的な科學的な作業方法を研究し、實行していくことが大切である。この意味で本編はよき参考ともなると思ふので紹介する。

一、重量物持ちあげのとき、體への危害をふせぐこと

重量物もあげの場合、人間のエネルギーを節約する適當な方法としていろいろあるが、それは男女に同様にはめられるが、とくに婦人においては、あると思われる體的要因がある。

(1) かぎられた體力のために、平均して、婦人は極度に重いものの仕事にやうのにはむかない。とにかく平均して婦人の體力は男子の半分よりも若干上であるにすぎない。とのことは最近の報告で實證されたのであるが、それは英國やその他のヨーロッパ諸國で行つたすと以前の研究とも一致している。國際労働局ではフランスの、ジョセフ・ジョンソンの調査の結果を承認している。同女史は、検査の結果、握力計により、婦人の力の比率が、男子の一〇〇〇分の五七〇であることを發見した。作業量記器によ

よると、重量物の持ちあげと運搬をする婦人の六九・五八一セントから七八一セントに生理時の痛みがつきものであるが、重量持ちあげを必要とせぬ職業では、二六・五八一セントから三九・二八一セントである。この發見は泥炭、石炭および金屬産業に働く一四五〇名の婦人の調査によつたものであり、對照には織維産業の婦人とモスクウの婦人車掌とをえらんで調べた。

二、工夫半一節約法を工夫するため、重量物持ちあげの要素を分析すること

重量物を取扱う職業に婦人を使用するとき、能率を増進するためには、重量物を持ちあけ、および運搬に關する要素と、労働者がしたがつてゐる仕事の條件と方法とを分析せねばならない。

る抵抗力の指數は一〇〇〇分の六七九であった。英國産業疲労調査局の研究も以上の發見を實證している。これより五十五年以上も前に、イギリス人類學研究所は、「女性は、他のどの點よりも、體力の點で、ひどく男性と異つてゐる」と結論している。この結論は、この方面的先駆者としての權威である、フランス・ガルトン卿の研究の結果の男と、一六五七人の女——の注意深い検査を行つたのである。

(2) 重量物の持ちあげは殊に婦人の體格に影響する。

重い荷をたえず持ちあげることは、出産時に重大な影響をおよぼすかもしれないよう、骨盤の畸形化をひきおこす。國際労働局の發見を引用すれば、「婦人が始終重い荷（例へば田舎や山間地方で）をはこねばならない習慣があると、骨組に畸形がみとめられる。（脊椎と肋骨下部に）。また胸腔と

腹壁に變化がおこる。そこで、たとへば、脊椎を押しつけて荷をはこぶ婦人の場合、脊椎の腰部を擴げることにより、背丈を縮めることになり、骨盤を畸形にし、妊娠の過程に有害な影響をおよぼす。職業からおこる首の側面筋肉の痙攣、上脛神經叢、後頭下部神經の筋肉、臂筋の運動、心臓と甲状腺の肥大、等が報告されている」。

妊娠中、身體のある要素中におこる、いちじるしい變化は、重量持ちあげの折、考慮せねばならない。呼吸、脈搏、血液の組織等は、ふだんから婦人は男子のとは異つてゐるのであるが、妊娠中にはさらにもつと著しく變化をおこす。妊娠は心臓の作用に影響し、血液の量と、血壓と、心臓の鼓動を増し、心臓の向きを上向きにかへさせる。呼吸運動の幅は日立つてしまふなり、筋肉の力も減る。

同様に、ある權威者は、持ちあげ作業が月經時の困難を増すことを發見している。ロシアで行われたある調査に

これをするには、左の要素について、科學的研究を、あるいは一つづゝ別に、又あるいは全部綜合してしなければならない。

1. 持ちあげられた重量物単位の重量

2. 體重に対する荷の比率

3. 一日に持ちあげられる分量

4. 持ちあげの高さ

5. 荷の密度

6. 荷運搬の際の一定の高さで持ちあげてはこぶ距離と、その持ちあげの高さの變化

7. 荷がどの程度邪魔しているか

8. 正常な歩行に対する影響

9. 持ちあげ方法

(a) 大股に足をひらいた姿勢は、

鼠蹊部を無用に引きつらせる

(b) 腰より低く肩を下げて持ちあげることは、背中の筋肉を無用にひきつらせる

三、特殊の方法でもちあげの折の危険を克服すること

前に述べた諸點を分析すれば、當然仕事の上で重量物を扱つたり、荷の運搬をしたりせねばならない婦人を有効に使用する方法がわかつてくる。

(1) 持ちあげや運搬の工夫を紹介す

重量物を取扱う職業に婦人を使用するとき、能率を増進するためには、重

量物を持ちあけ、および運搬に關する要

素と、労働者がしたがつてゐる仕事の

條件と方法とを分析せねばならない。

重量物を取扱う職業に婦人を使用するとき、能率を増進するためには、重

量物を持ちあけ、および運搬に關する要

素と、労働者がしたがつてゐる仕事の

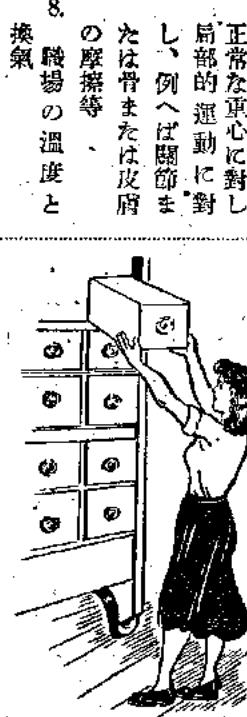
條件と方法とを分析せねばならない。



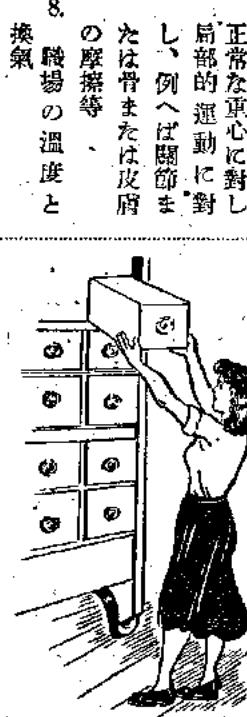
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



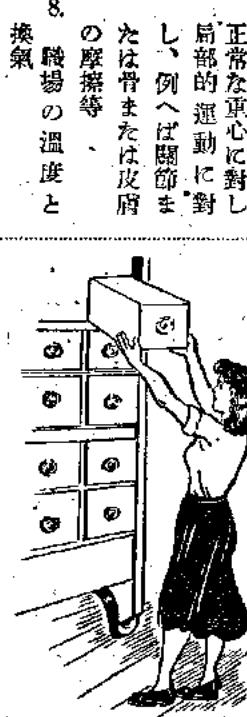
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



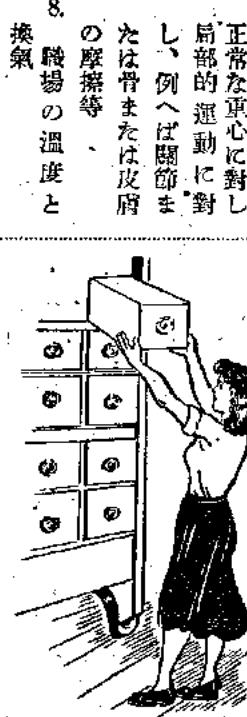
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



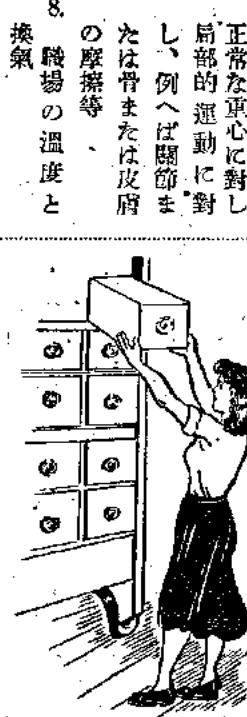
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



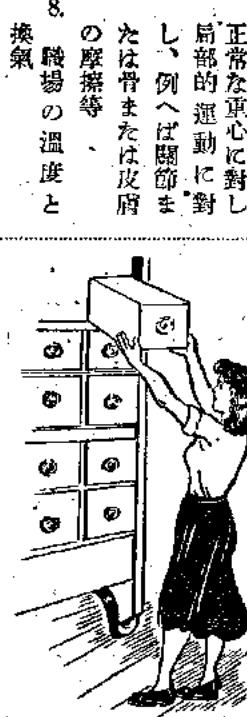
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



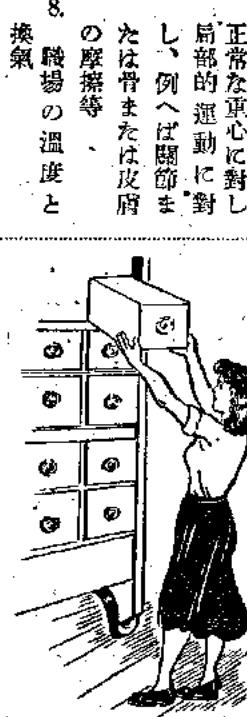
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



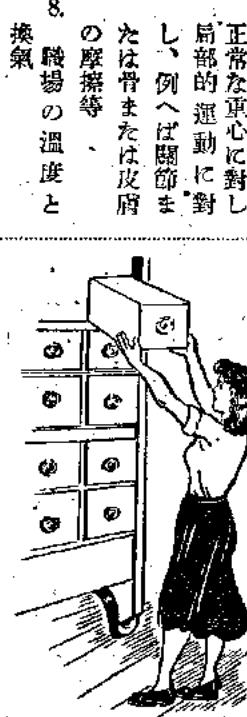
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



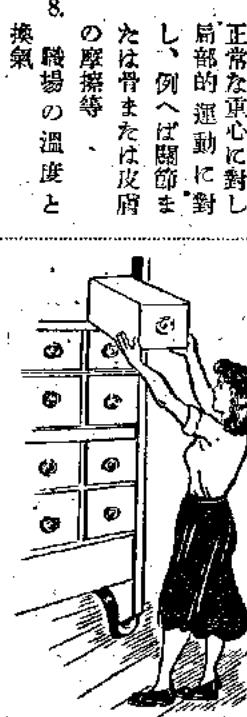
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



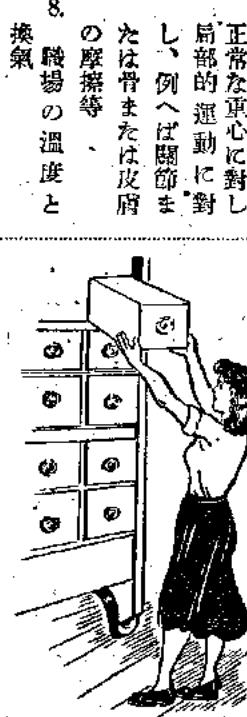
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



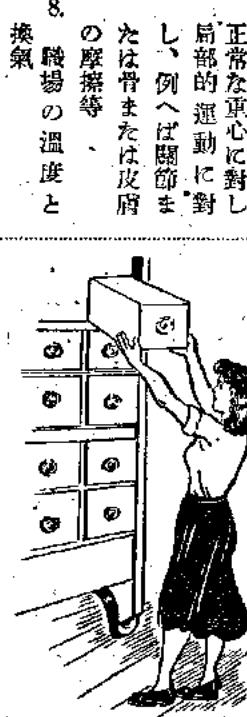
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



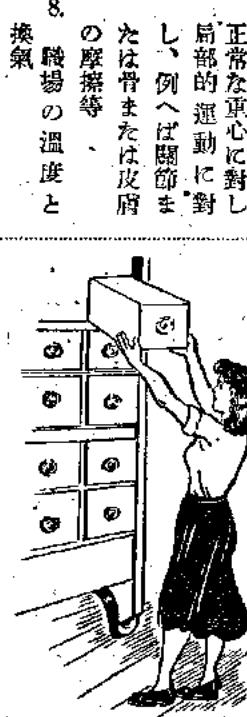
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



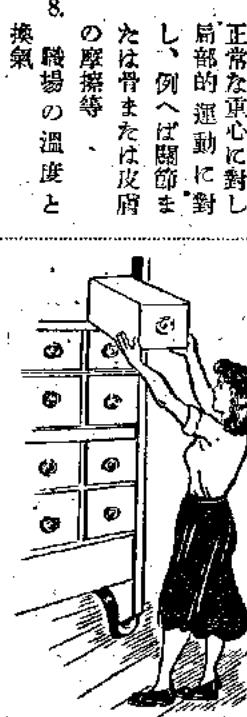
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



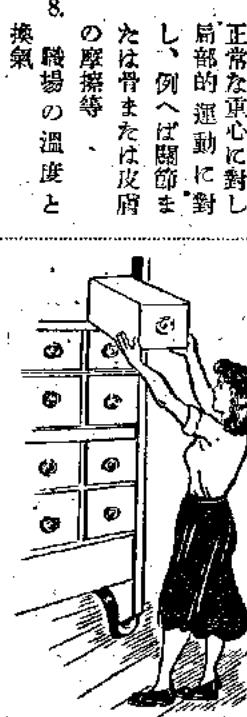
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



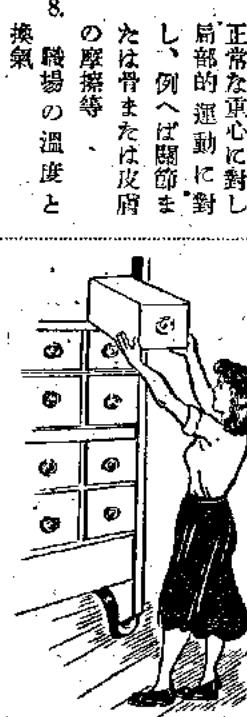
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



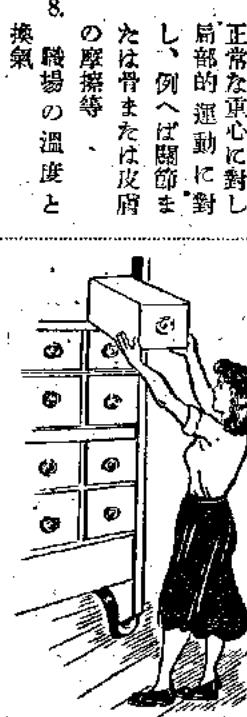
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



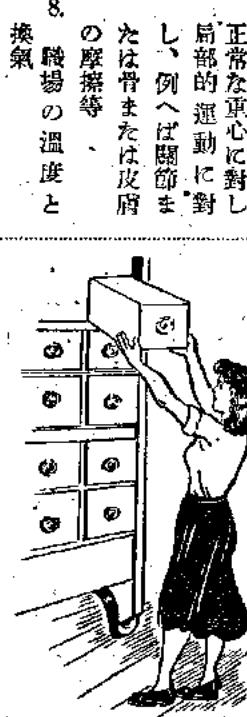
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



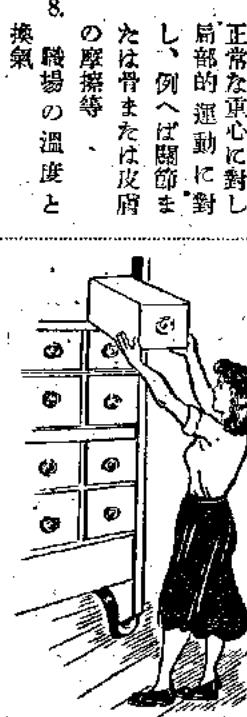
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



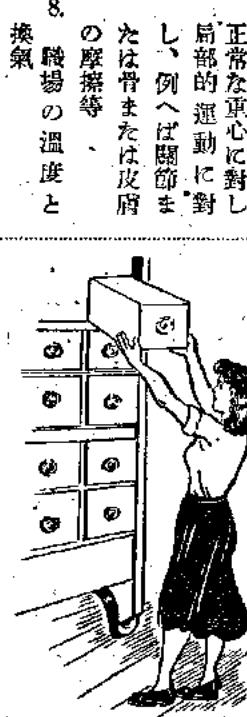
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



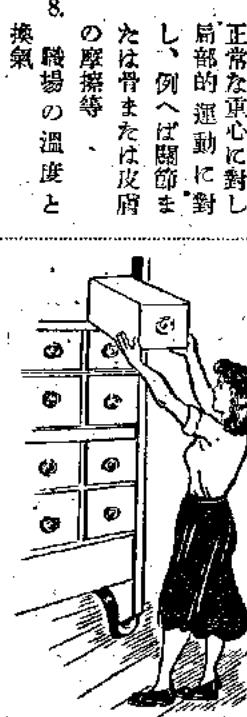
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



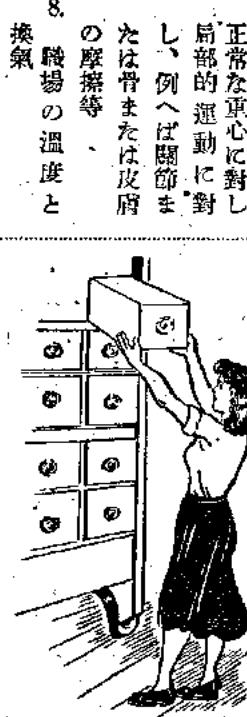
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



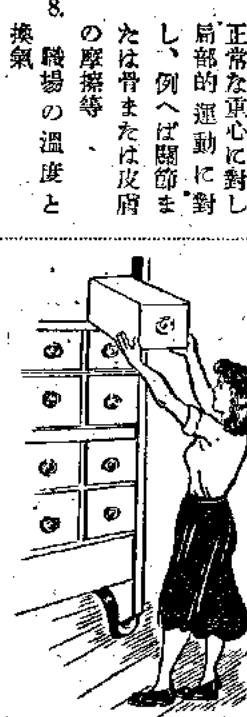
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



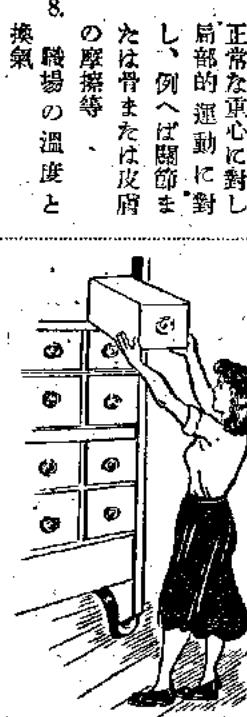
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



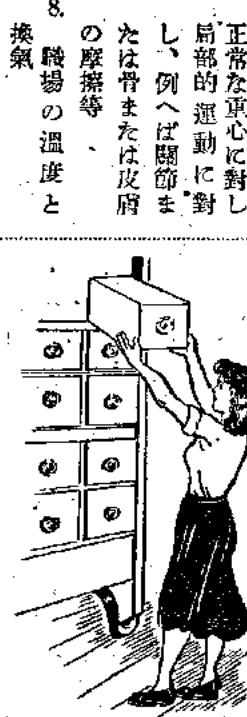
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



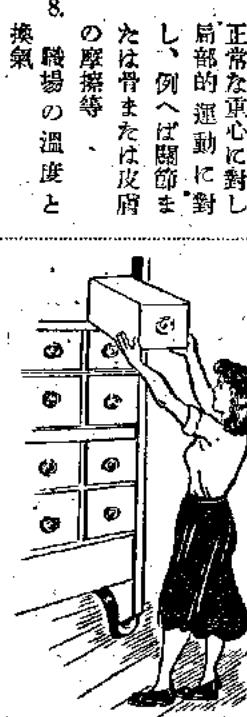
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



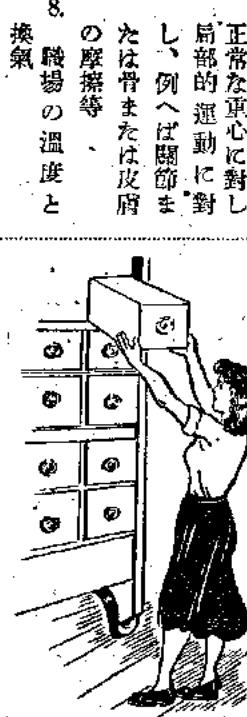
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



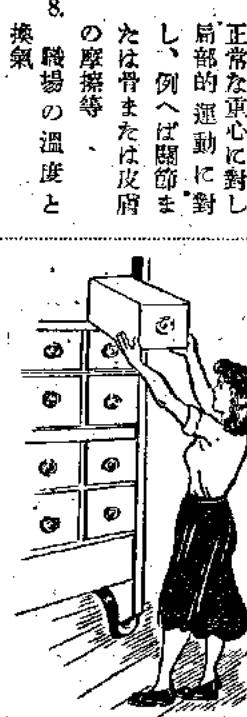
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



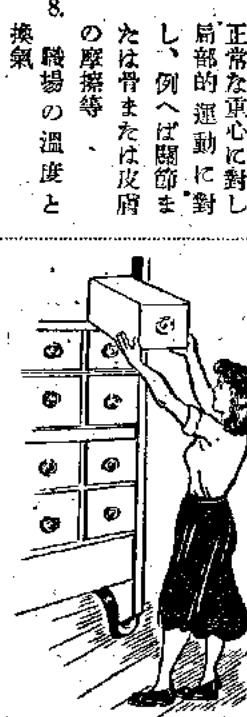
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



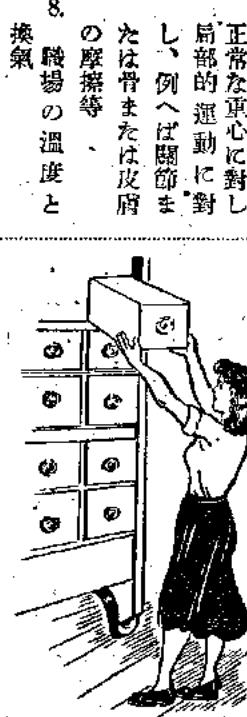
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



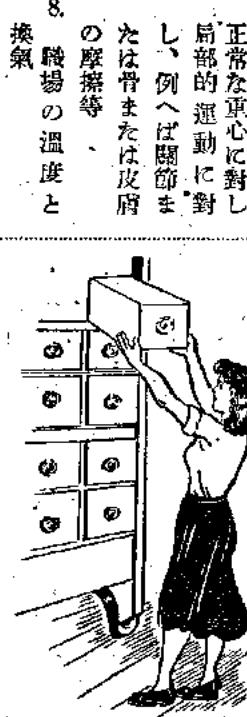
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



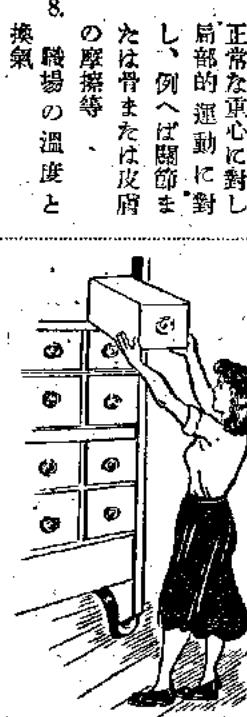
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



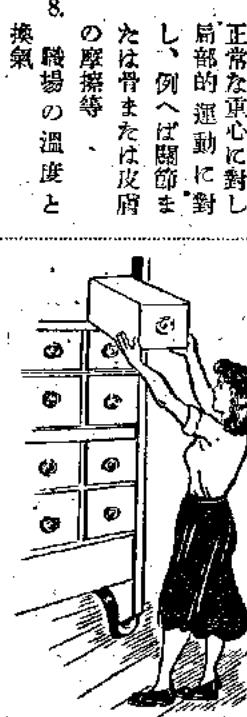
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



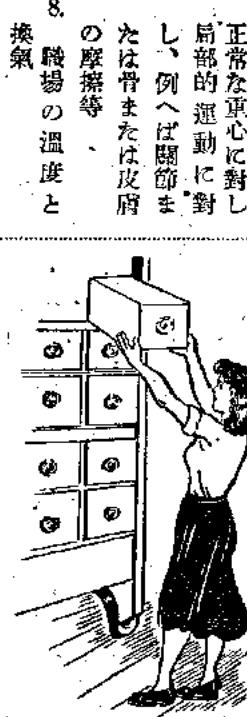
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



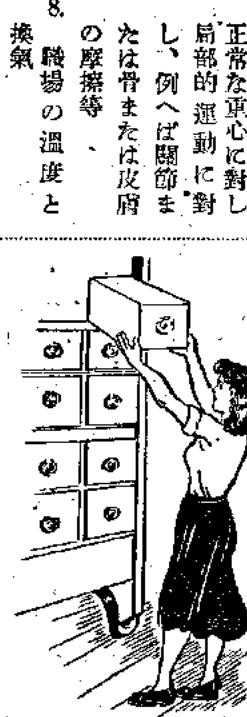
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



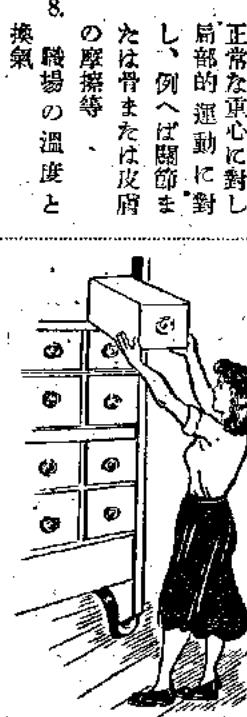
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



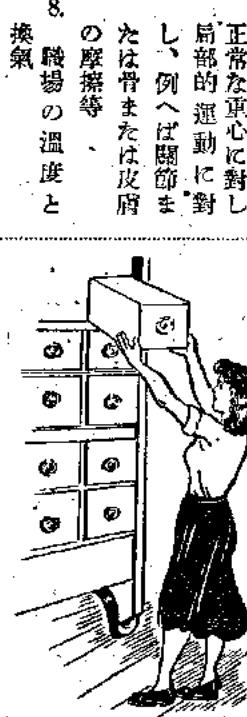
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



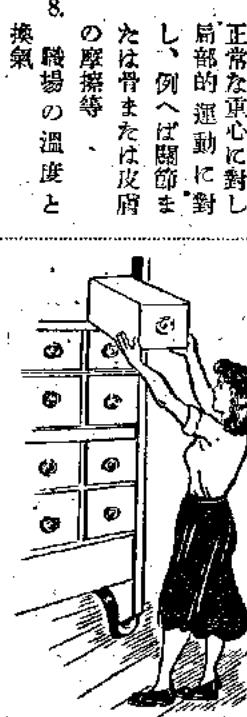
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



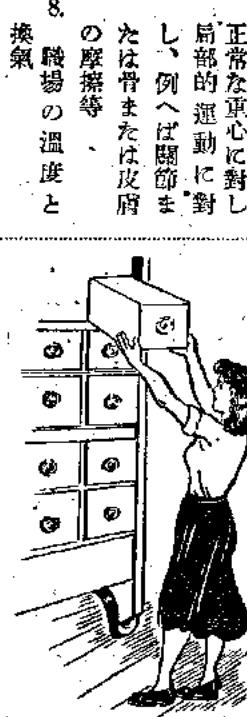
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



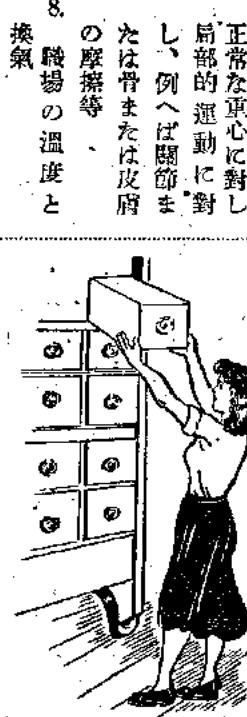
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



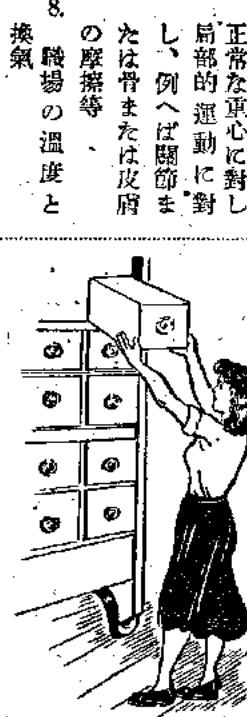
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



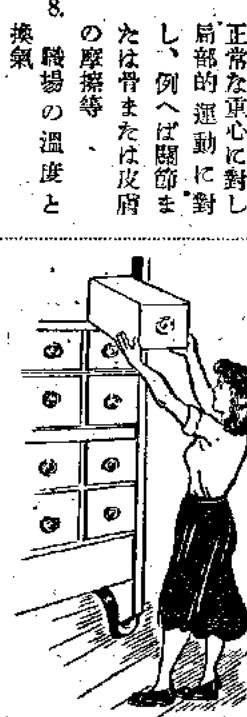
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



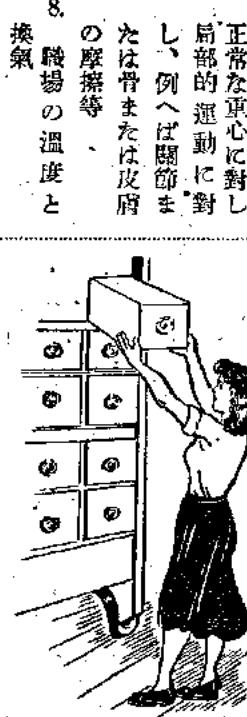
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



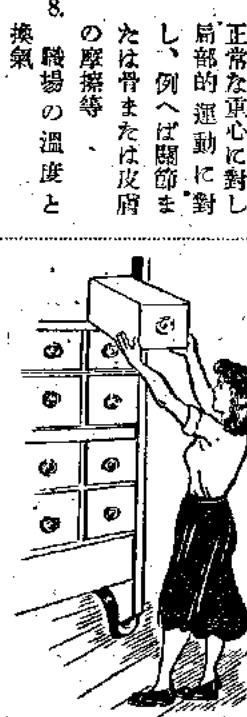
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



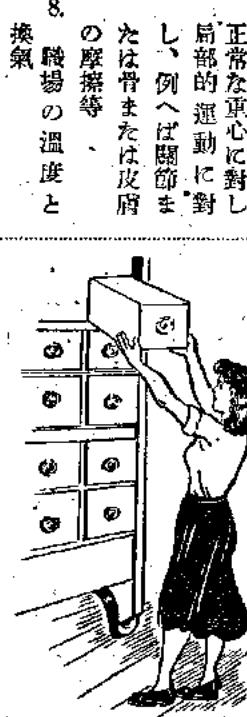
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



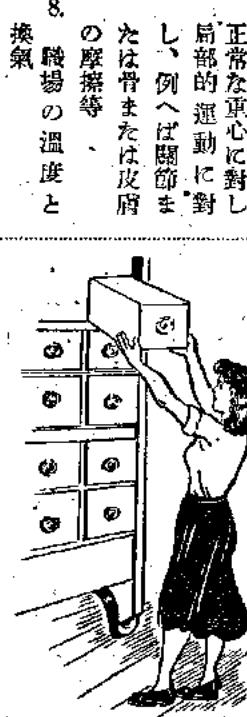
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



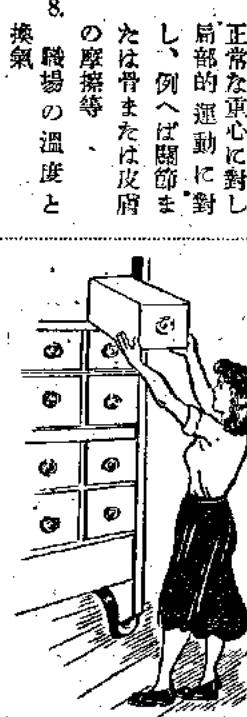
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



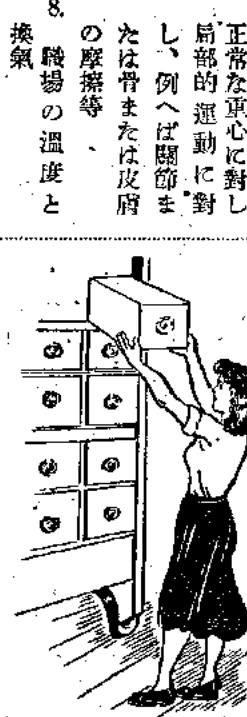
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



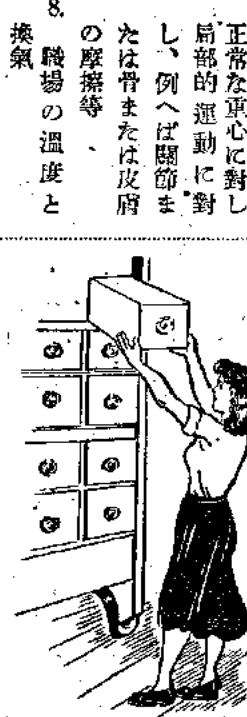
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



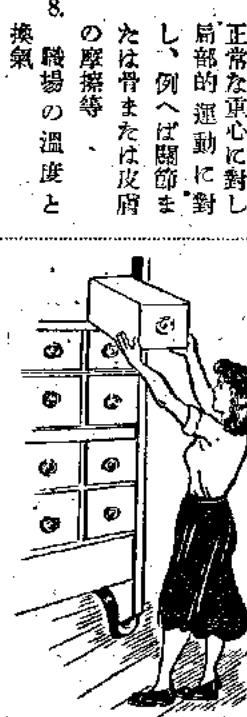
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



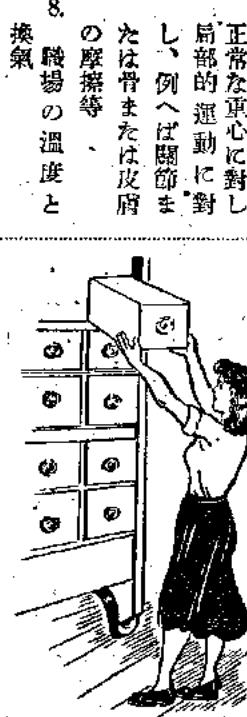
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



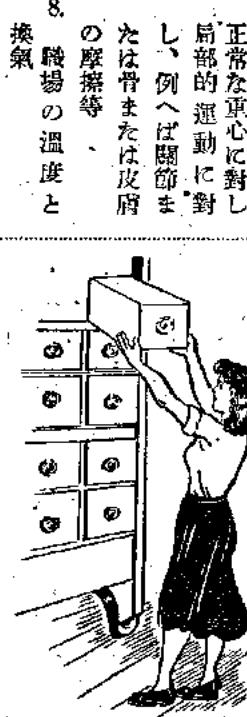
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



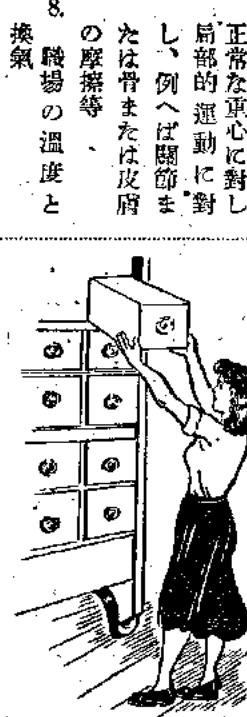
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



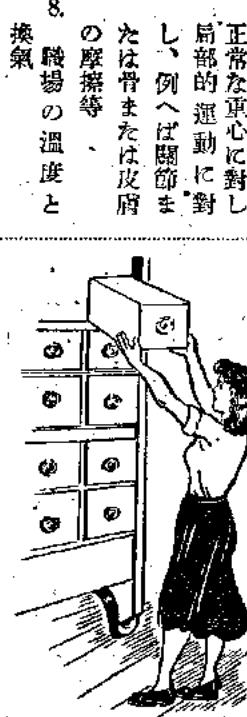
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



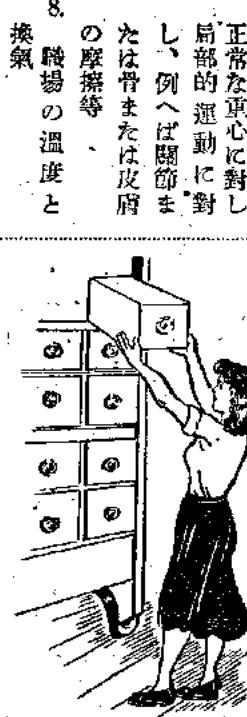
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



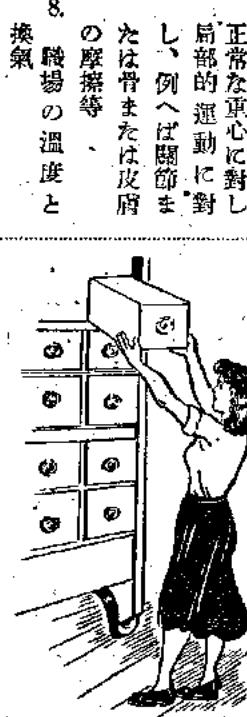
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



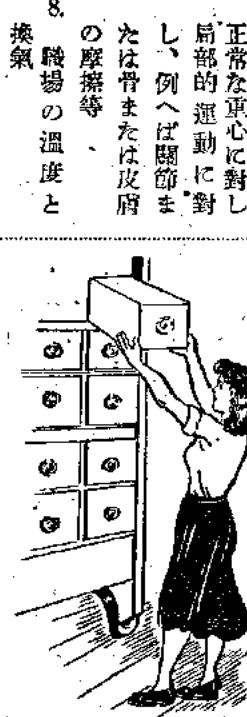
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



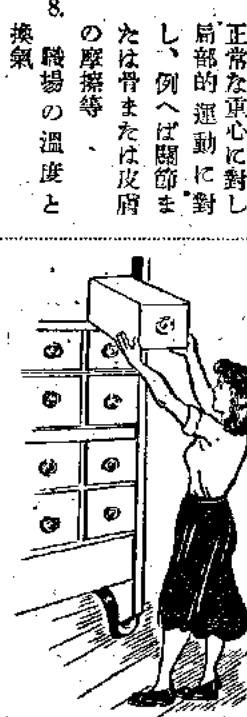
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



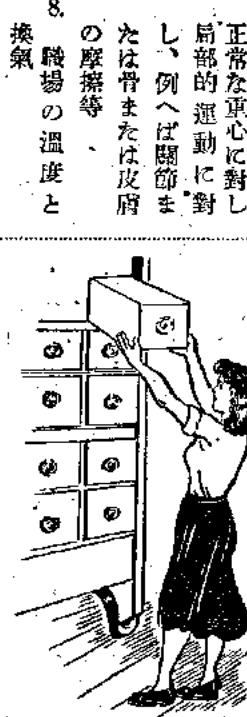
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



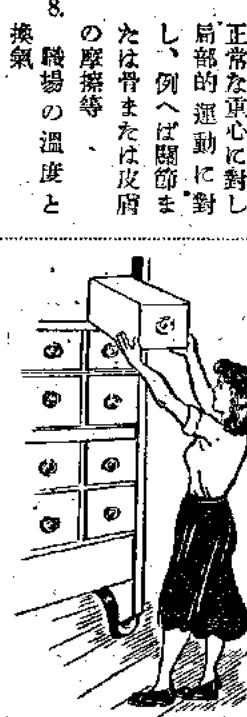
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



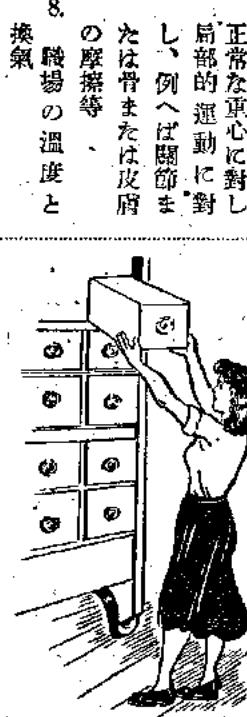
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



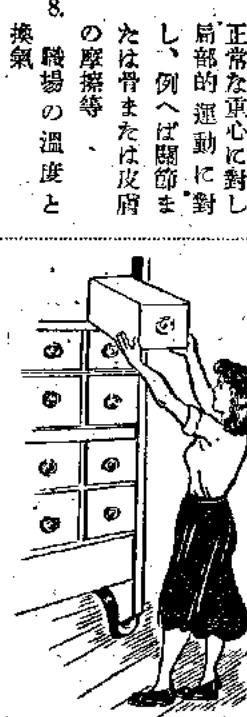
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



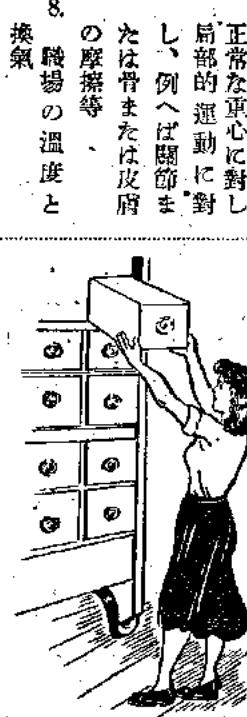
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



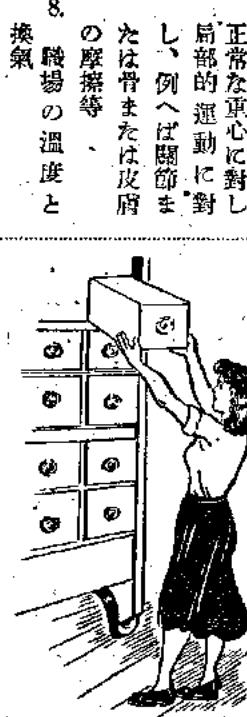
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



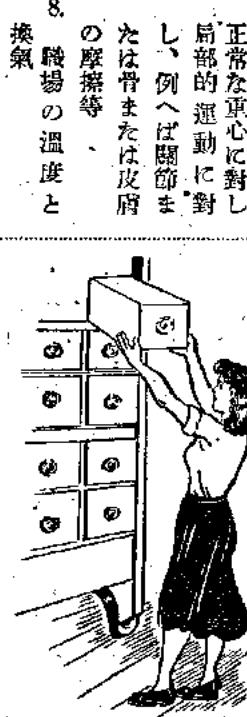
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



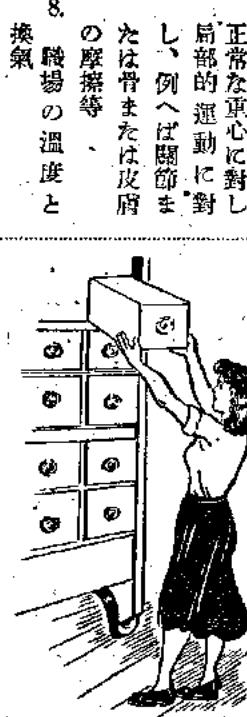
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



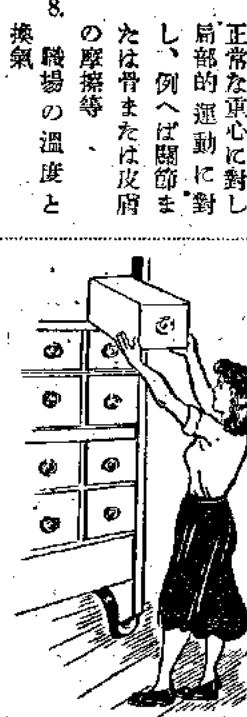
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



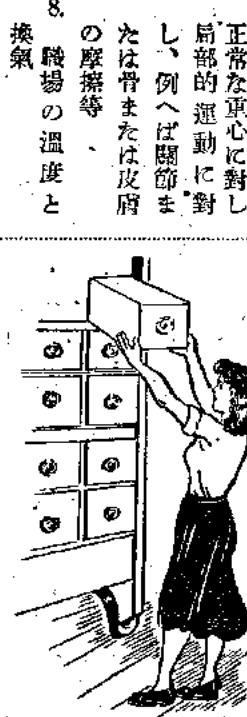
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



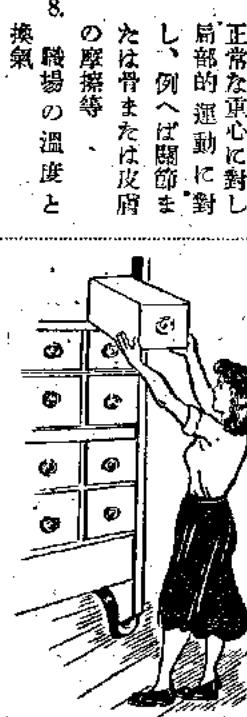
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



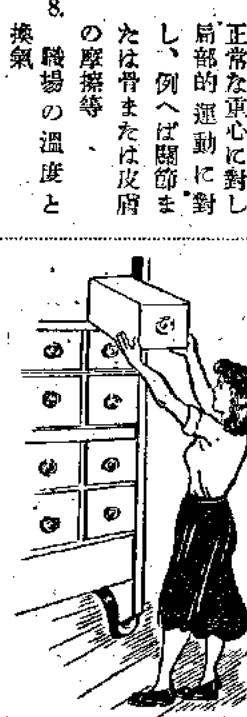
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



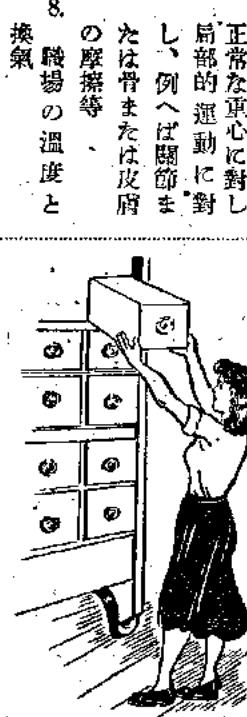
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



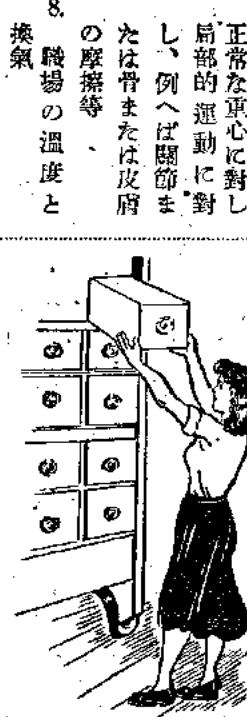
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



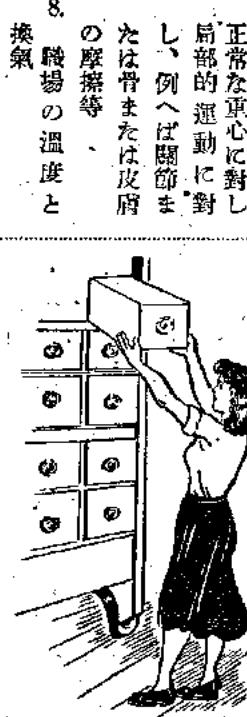
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



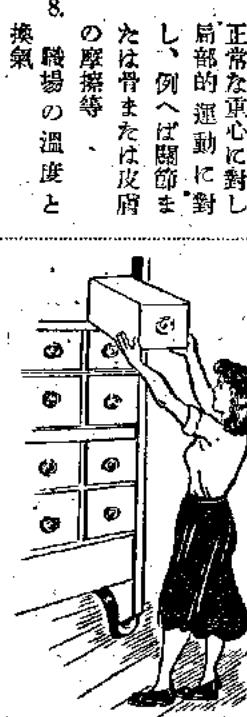
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



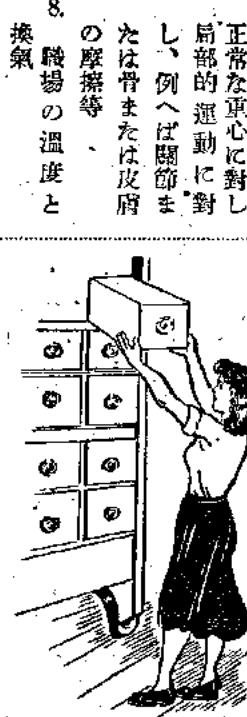
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



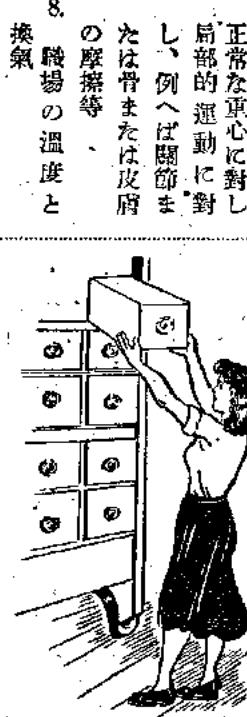
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



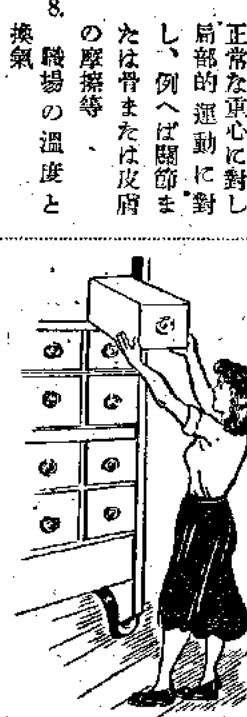
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



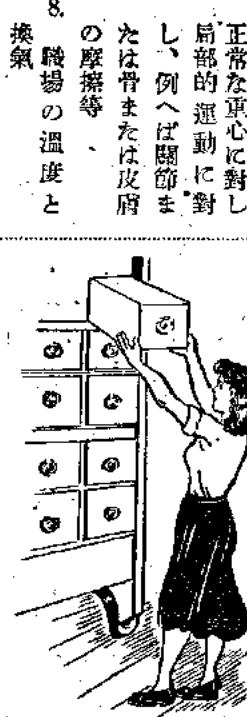
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



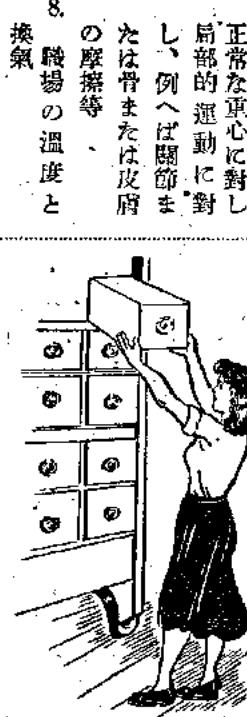
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



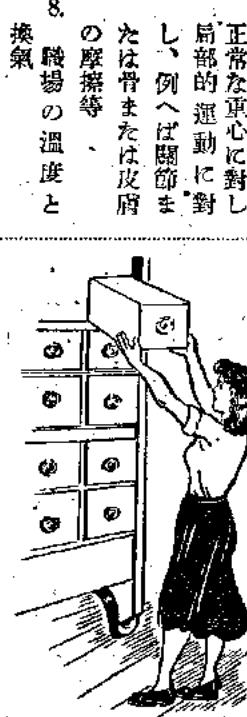
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



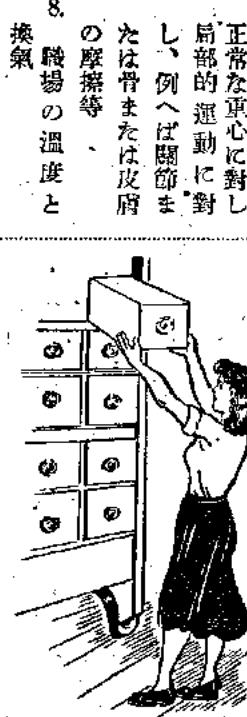
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



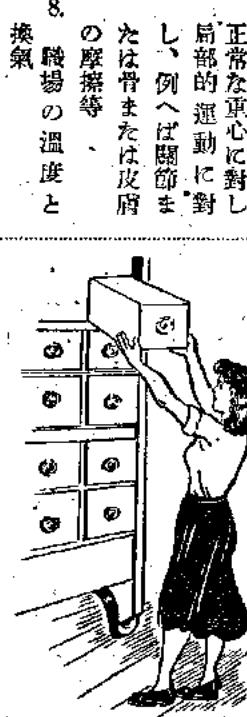
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



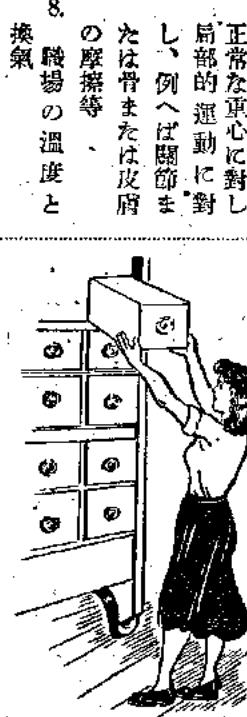
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



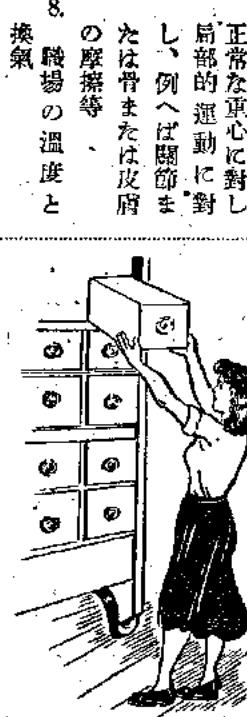
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



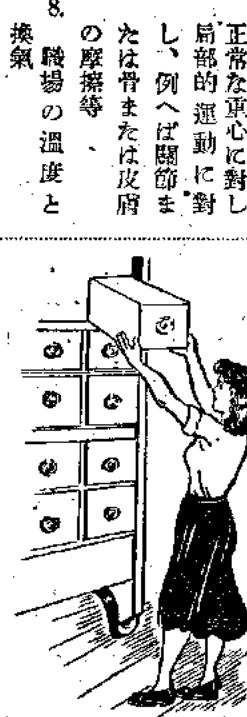
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



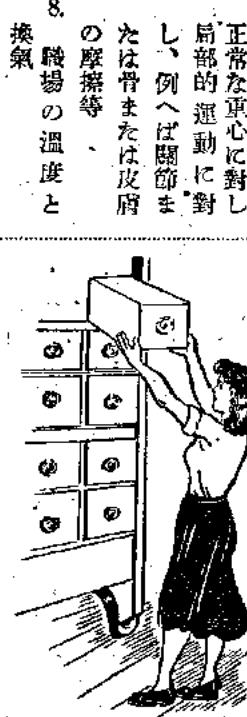
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



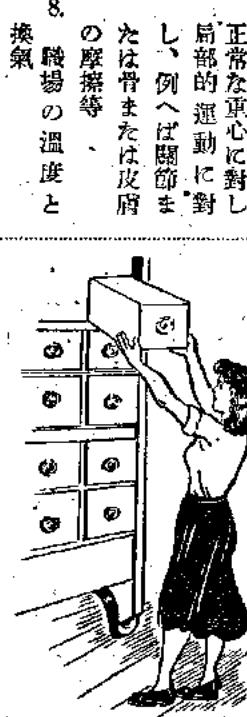
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



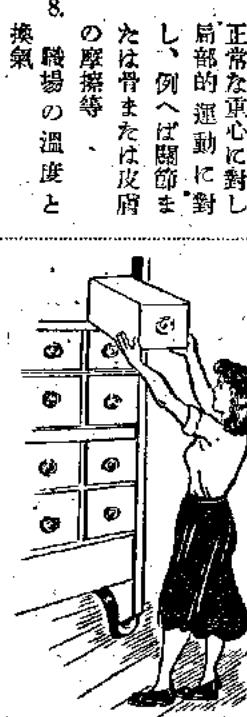
あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



あげる
みみ筋肉
張りとせ
る。



<

二〇

目下、重量物持上げや運搬に關する
大抵の重大な問題を解決するものとし
て、機械による運搬の工夫が計畫され

(2) 仕事の能率をあげる條件をとふること

第一段階は仕事を一できるだけ最早に配置する計畫をすることである。そのような配置とはつきのことをよくむ。

(一) 或る高さから別の高さへ、不必要に持ちあげることをなくすための、仕事のお膳立ての仕直しをする。直立して持ちあげることは、エネルギーを一番消費する。機械に材料を喰わせる折に婦人は持ちあげをするがその大抵は、機械と同一平面に材料をおけば避けられる。

(二) 持ちあげが必要なところでは、人が自分の背の高さ以上に積み重ねないですむように仕事を配置すること。



第3圖

四、一番經濟的な方法を用いる

(三) 荷の持ちあげ方、運び方の中にも、たゞの仕方よりもずっと効果的で、疲労が少くてすむものがある。そして労働者はその方法に關して指導をうけるのがよい。膝を曲げて荷のそばにしやがみ、それから膝を真直ぐにのばして直立して持ちあげれば、背中の筋肉は、無理につゝ張ることもなく、最大限度の體力を出せば足りる。背部障害を起す一番多くの原因は、不當な持ちあげ、つまり脚部の筋肉よりも、背筋肉で持ちあげることである。

ニユウ・ヨーク州警察部の特別調査課の発見したところによると、一九三〇年に、國營産業の中で、重量物持ちあげに從事する婦人中、背部障害は七二件であった。

四、一番經濟的な方法を用いる
訓練すること

労が少なくてすむものがある。そして勞働者はその方法に關して指導をうけるのがよい。膝を曲げて荷のそばにしゃがみ、それから膝を真直ぐにのばして直立して持ちあげれば、背中の筋肉は、無理につゝ張ることもなく、最少限度の體力を出せば足りる。背部障害を起す一番多くの原因は、不當な持ちあげ、つまり脚部の筋肉よりも、背部筋肉で持ちあげることである。

四、一番經濟的な方法を用いる
訓練すること

重量物運搬の折、大いに考えねばならぬことは、仕事の能率をあげるの是非入用な、労力の最大限の節約をかることと、相當時間つゝけねばならない運搬の過勞からたしかに救つてることである。

(1) 工業に従事する婦人の、普通

(二) 新規に就職した者には、最初の注音をあたえるだけでは充分でない。注意はたびくくりかえさねばならない。(一) 婦人には特に、腹部を不當につぶることがないような方法をおしえねばならない。

足を荷に近づけておくこと。
股幅をせまくし、足は八——一二インチの間隔でひらく。

(二) 若い少女たちには、持ちあげや運

(三) 運搬せねばならぬときは距離をちぎめるために、仕事のお膳立てをしなおすこと。
(四) 溫度と換氣の標準はとくに大切である。ことに體を不當に冷さないで、極度の熱を外に散らす装置をしなければならない。



第2回

時間と休憩時間を適度に短くするか、休憩時間とよくたむびとるべきである。

場内でも、婦人が從事する普通の作業は容器運搬であるが、これはたゞ短距離で、不規則な仕事の場合にだけ適している。この方法でつづけさまで運搬すると、腕と手首が局部的に疲労する。腹部または大腿部にも不快感や壓迫感をもたらす。容器運搬は正確な歩行

訓練が必要である。調査によれば、若い少女は骨盤の發達を畸形にする恐れがあるのであつて、持ちあげのためにひどい目にあうことがある。

青年男女は自分に手頃な持ちあげ重量の単位を決める判断力がない。たとえば、調査によれば、一少女は背中がひどく痛つてくるしんでいたが、彼女はわづか三〇呎しか歩かないですんだのに、賞金制度で働いていたので、時間を節約したいために、普通の荷の

しかし長時間つゞける作業には、この方法は、手と腕にどうしても局部的疲労をあたえるため實行できない。肩にかけて引きする方法は呼吸がある程度ままたげる。

(4) 腰ではこぶ方法は、片方に荷をもつかわりに反対側に身體を曲げなければならなくなる。この方法は正常な歩行とまたある程度自然の呼吸とをさまたげる。労働者は腕の疲れと腰部の摩擦のためにとくに疲労を感じる。尤もある目的のためにはこの方法は有利かもしれない。荷がらくにテーブルから取りあげられるし、片腕を手ぶらにしていられるから。

重量物関係の職業における休憩時間の重要性

もし、持ちあげや運搬の折に無倍好な姿勢をしなくてはならぬときは、作業は短時間で切りあけなければならない。

重工業の場合は、從来休憩時間を設けて好成績をあげてきた。休憩は、持

ちあげと運動とが呼吸におよぼす影響——酸素の缺乏をおぎなう必要——から云つて缺くことのできないものである。この場合の休憩時間の長さは、筋肉労働をつゞける時間とそのはけしさの度合に相應したものでなければならぬ。

（5）身體検査により重工業労働者の健康を守ること

第一次大戦中、ある會社では採用前の身體検査によつて、婦人労働者の健康保護に好成績をあげた。労働者の就業権が充分に保護されている場合は、婦人を使用する重工業では、身體検査がのぞましい。

この身體検査實施にあつては、労働者のために適當な保護を確保してお

くことが、特に大事である。この目的



4. 頸部に腰をうつすと、腰の運動が可能である。腰の運動法がある。

た腰と腰の運動法がある。

の運動法がある。

歩行とまつある程度自然の呼吸とをさまたげる。労働者は腕の疲れと腰部の摩擦のためにとくに疲労を感じる。尤もある目的のためにはこの方法は有利かもしれない。荷がらくにテーブルから取りあげられるし、片腕を手ぶらにしていられるから。

重量物関係の職業における休憩時間の重要性

もし、持ちあげや運搬の折に無倍好な姿勢をしなくてはならぬときは、作業は短時間で切りあけなければならない。

重工業の場合は、從来休憩時間を設けて好成績をあげてきた。休憩は、持

ちあげと運動とが呼吸におよぼす影響——酸素の缺乏をおぎなう必要——から云つて缺くことのできないものである。この場合の休憩時間の長さは、筋肉労働をつゞける時間とそのはけしさの度合に相應したものでなければならぬ。

（5）身體検査により重工業労働者の健康を守ること

第一次大戦中、ある會社では採用前の身體検査によつて、婦人労働者の健康保護に好成績をあげた。労働者の就業権が充分に保護されている場合は、婦人を使用する重工業では、身體検査がのぞましい。

この身體検査實施にあつては、労働者のために適當な保護を確保してお

くことが、特に大事である。この目的

のためには、ウイスコンシン産業委員會の計畫と似た計畫を實施することを提議する。その計畫といふのは、組織労働者の代表者によつて、満場一致で採用されたものであるが、それは使用者側のえらんだ醫師の身體検査を要求している。身體に故障があることがみとめられたならば、検査を受けた労働者は州産業委員會に書類による申告をする。調査の結果、もしこの申告を正當とみとめられれば、使用者はまた別の醫師によつてもう一度診察を受けさせる義務がある。

職務は個々の人々の能力に適應させねばならない。採用豫定の労働者に、

ないものも勿論たくさんある。採用前の身體検査によつては、心臓病、異常緊張、過度の肥満、神經衰弱、肺結核、脱歎、その他の病状のものは除かなくならない。どの醫療経歴にもすべて、この前の妊娠から重量持ちあけ作業がふくまれている仕事につくまでは、どの位時間が経過しているかについて、明確な記述をのせていなければならぬ。

（6）重量物持ちあけを州で取締るには、最大限重量をきめる特別法律だけでは効果的でない。公認の取締機関に

よる方が効果がある。

調査によれば、體力節約に一番適當な荷は、體重の三五パーセントである。ところどころで見ついている個々の人々の身體的特徴と同時に考慮しなければならない。そして、個々の人々の身體検査を通じての保護法と併行して、工場監督にしたがう州行政機關は、重量物持ちあけのふくまれている職務に從事している婦人の労働條件に關して監督し、勧告し、規則を定める権限をもつべきである。

現行の州規則は、主として、婦人保護の必要が六つの州でみとめられてゐることを示すために存在し、役立つてゐるようなものであつて、不充分である。左の表は現行規則の概要である。

（1）箱、かご、その他の容器で中味とともに五〇ポンド以上あるものには、らくに動かせるよう、滑車、脚車、その他装置を備えねばならない（婦人を使用するすべての作業

腰痛または妊娠中の併發症のような疾患のうたがいのある経験があるとき、重量物の運搬に適しているかどうかについて、身體検査をして決めねばならない。

この前の妊娠から重量持ちあけ作業がふくまれている仕事につくまでは、どの位時間が経過しているかについて、明確な記述をのせていなければならぬ。

身體障害は、重労働に就くことをされねばならぬし、採用前の身體検査で発見しなくてはならないのであるが、その中には特に必ずしも女子に限られ

する歩行がさす。
する歩行がさす。
する歩行がさす。
する歩行がさす。

（7）第5章
腰部に重量物を持ちあけ歩行がさす。

適用されるような、最大限重量を科目的に規定することとは不可能である。重量物持ちあけのことで、すべての婦人に

ない（婦人を使用するすべての作業に際しての全ての要

(2) 中味と共に一〇ポンド以上の重さのある容器を運搬しながら、床から

五フィート以上の高さの階段を昇降することは、どのような階段でも、

禁止する(すべての職業、商業、工業に適用)。

(3) 二五ポンドを、持ちあげおよび運

搬の最大限と規定する(すべての職業、商業、工業に適用)。

マサチューセッツ州
中味ともに七五ポンド以上の重さのある容器には、持ちあげずに動かせる装置をせねばならぬ(製造工業と機械工業に適用)。

オハイオ州
二五ポンド以上の重量物を頻繁に、またはくりかえして持ちあける必要のある就業を禁止する。

ペンシルヴァニア州
(1) 爆発物作業場内の重量物持ちあげを禁止する。

(2) 焙接と切斷作業では、一五ポンド

以上の重量物の持ちあげを禁止する。

ユタ州

三〇ポンドを越える荷の持ちあげ、および一五ポンド以上の荷の運搬を禁止する(全作業に適用)。

ワシントン州

「法外な」重量物の持ちあげと運搬を禁止する(製造工業および商業に適用)。

(婦人局特報第二号への補足)

たえず持ちあげ、運搬、手押し、曳引などの必要な職務に婦人をえらぶには、婦人の體重と背丈だけでなく、その體力にもよらねばならぬ。見かけは頑丈な婦人でも重量物の労働が、到底できないこともあるし、またほつそりした婦人でも、適當にすれば身體に障りなく、そのような仕事をすることができることがある。職場の醫師は、個々の重量物作業において、婦人の肉體的條件を決定しなければならない。

(田中壽美子譯)

荷が運搬される距離もまた、荷の大きさを決める際に考慮に入れなくてはならない。そしてそれがどの位の距離をはこぶのか、どの位の時間つゞけられるのか、また階段を上るか下りるか、それとも平でない床の上か、地面の上か、なども考えねばならない。

持ちあげや運搬の場合と同様、手押車や荷車で押される適度の荷の大きさも労働條件によつてちがうだろう。滑かな床の上や、平な地面上を、短時間一氣に運搬する場合、婦人はその仕事が何時間もの間つゝけさまに、凹凸の場所よりもたくさん押すことができる。また、手押車に積荷するものは誰でも、荷の平衡をとつて、できる限り重い目にあわないよう、そしてころりしないように、注意深く荷をつみ重ねることが大切である。